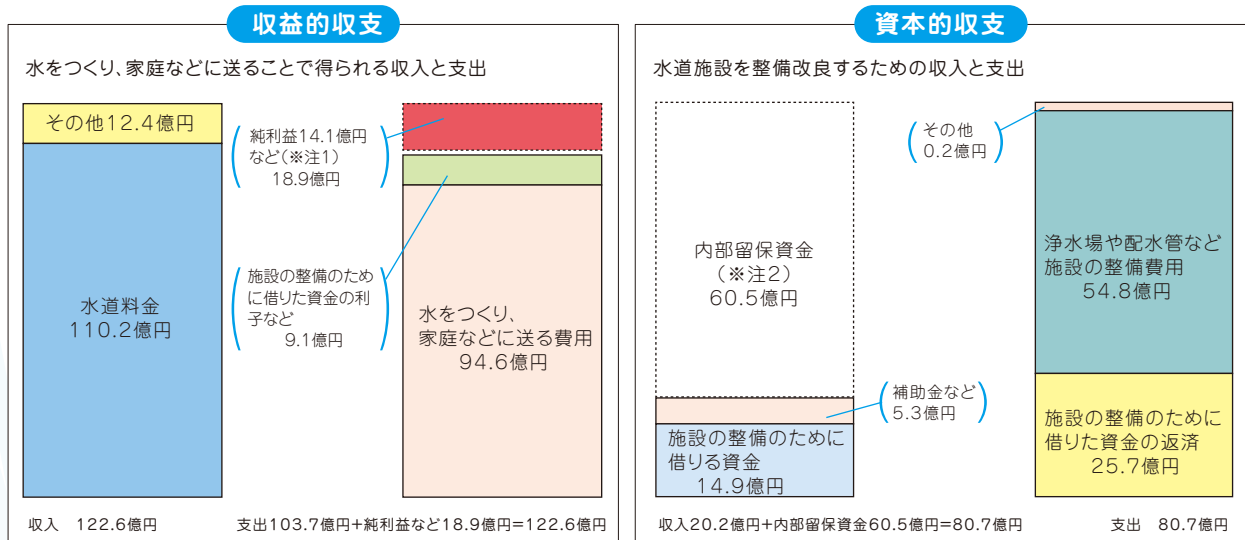
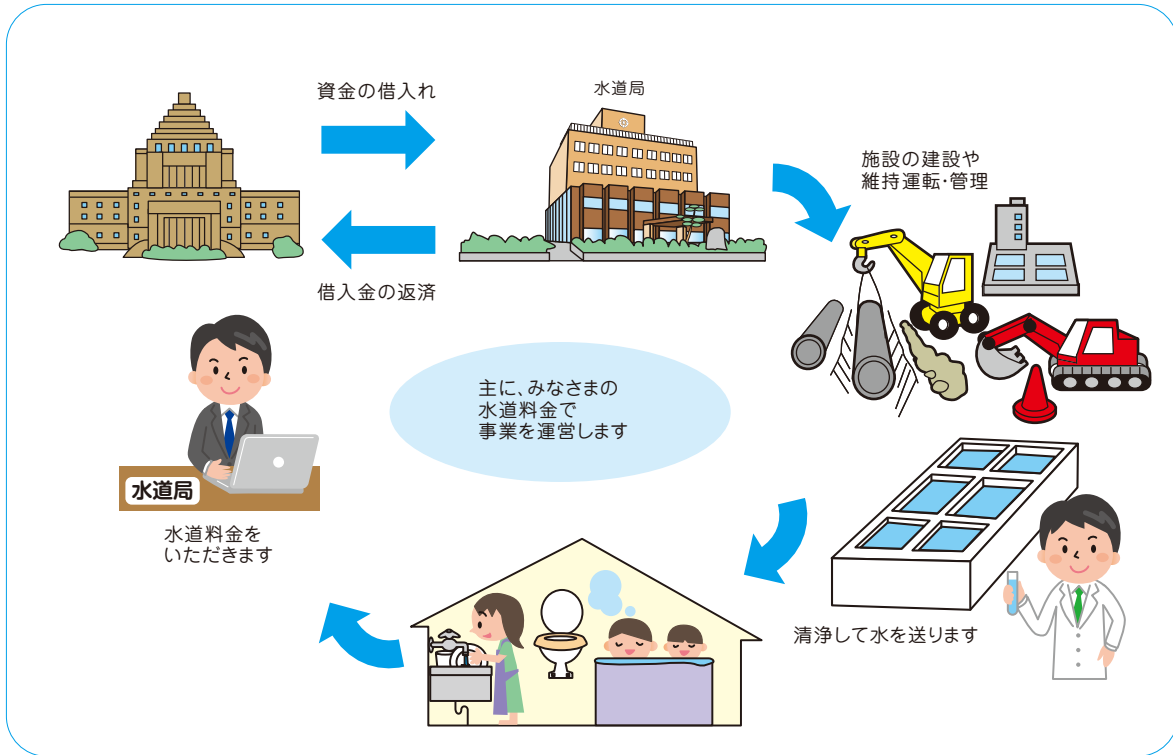


2 水道事業・公共下水道事業

(1) 水道事業・公共下水道事業の経営

【水道事業のしくみ】



令和2年度予算の概要です。水道局では「工業用水道事業」も運営しています。水道・公共下水道・工業用水道事業の予算・決算については、ホームページでも公表しています。

※注1…純利益のみ税抜きで、その他は税込みです。

※注2…資本的収支において収入が支出に対して不足する額は、減価償却費等により生じる内部留保資金で補填しています。

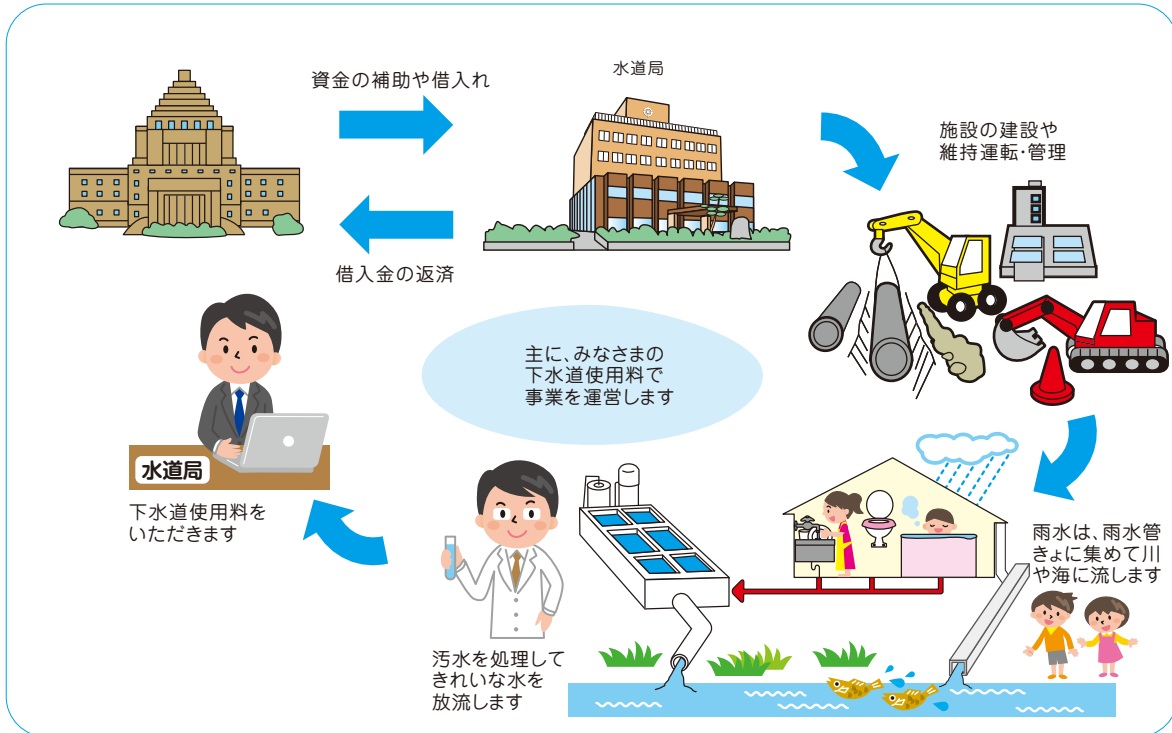
Q 施設能力適正化(ダウンサイジング)の取り組みについて。

A 施設の更新時期などに合わせ送配水管等を整備することにより、取水量低下や老朽化等の課題がある水道施設を廃止し、施設整備費や維持管理費の削減を図ります。また、水需要が減少傾向にあること等を踏まえ、長期的視点に立った施設能力適正化の検討結果に基づき、水道施設の統廃合を進めます。【水道整備課】

Q 水道局は独立採算ということですが、上下水道事業はどのように運営されているのですか。

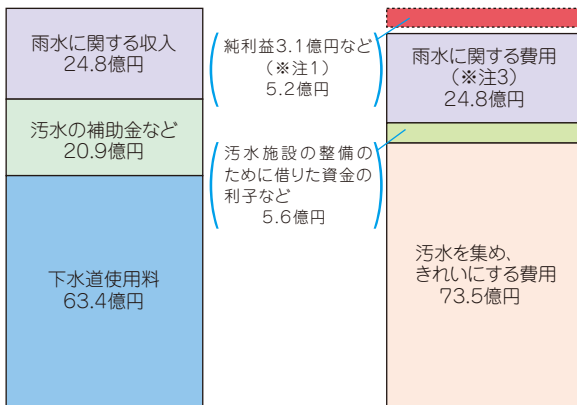
A 水道事業の会計は、市役所の会計とは別にしており、給水のために必要な動力費や職員の給料などの必要経費は、原則として水道料金などの収入で賄っており、これを「独立採算」と呼んでいます。また、公共下水道事業の会計も雨水は公費負担、汚水は下水道使用料収入で賄うのが原則ですが、下水道には生活環境の改善や公共用水域の水質保全といった側面もあるため、国や市からの補助金も費用の財源に充てています。【経営管理課】

【公共下水道事業のしくみ】



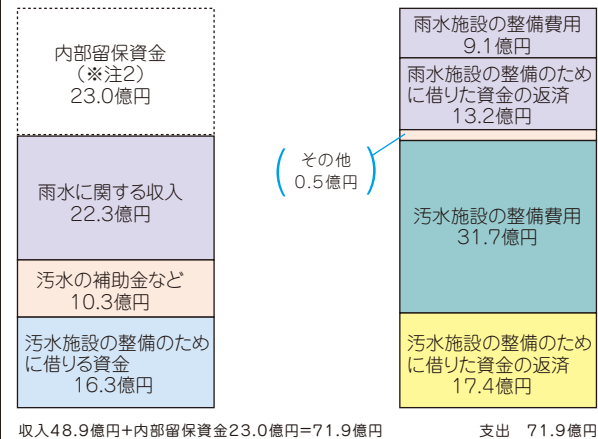
収益的収支

家庭などから集めた汚水をきれいにすることで得られる収入と支出 + 雨水に関する収入と支出



資本的収支

下水道施設（汚水・雨水）を整備改良するための収入と支出



※注1…純利益のみ税抜きで、その他は税込みです。

※注2…資本的収支において収入が支出に対して不足する額は、減価償却費等により生じる内部留保資金で補填しています。

※注3…雨水に関する費用は、雨水に関する収入（公費）で全て賄われます。

Q 公共下水道の整備地域について。

A 本市の公共下水道事業は、市街化区域を対象としており、市街化区域の未整備地区について順次整備を行っています。

したがって、鹿児島市の場合、市街化区域は公共下水道で、それ以外の区域は合併処理浄化槽で生活環境の改善などに取り組んでいるところです。【下水道建設課】

(2) 水道水が作られて、汚水がきれいになるまで

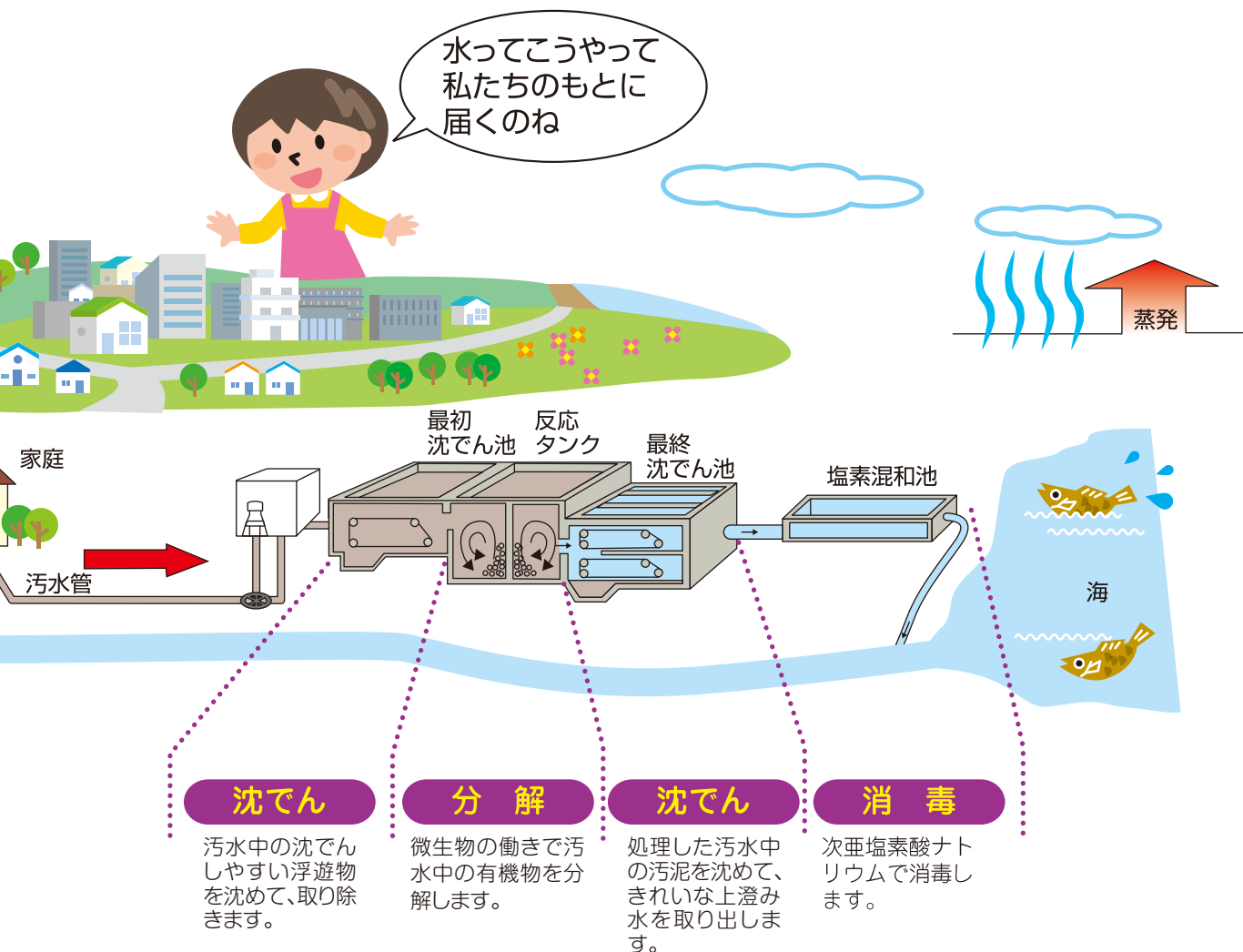


鹿児島市の水道は、河川の表流水や地下水、湧き水などをその水源とし、日夜、市民の皆さまへ水を送り届けています。また、市民の皆さまへの啓発や事業所に対する指導をとおして、地下水や取水河川流域の水質保全に努めています。

Q 鹿児島市の水道と公共下水道の特色について教えてください。

A 本市の水道の特色としては、地形の条件から河川表流水3か所、湧水30か所、地下水72か所、伏流水2か所と水源の数が多く、配水池も150か所を超えるなど水道施設の数が多いことです。次に、市域内での新たな水源開発が困難となったことから、平成元年に市域外の万之瀬川からの導水を行っております。さらに、災害時などに備え、配水池間の水の相互融通を図るなど、災害対策の強化についても取り組んでいます。

本市の公共下水道の特色としては、昭和30年11月の供用開始のときから雨水と汚水を別々の系統で排除する分流式を採用していることです。さらに、処理場から発生する汚泥は、以前は埋立などにより処分していましたが、昭和56年4月から下水污泥堆肥化場で、全量堆肥化していることです。【経営管理課】



下水処理場

鹿児島市の公共下水道は、雨水と、台所やトイレなどの汚水を別々に排除する分流式です。雨水は、道路の側溝から雨水管きよを通過して川や海に放流され、家庭や工場などから出された汚水は、汚水管を通過して下水処理場に流れ、きれいな水に変わって川や海に放流されます。

このほか、公共下水道ではありませんが、家庭などからの汚水は合併処理浄化槽でも処理されています。